

【ご参考資料】

2014年7月24日

7月24日発表のニュージーランドの政策金利の引き上げについて

政策金利を3.25%から3.50%に引き上げ

7月24日、ニュージーランド準備銀行(中央銀行)は、政策金利であるオフィシャル・キャッシュ・レートを0.25%引き上げ、3.50%にすることを決定しました。

市場の予想通り、4会合連続の利上げとなりました。今年3月からの利上げ幅の合計は1%となりました。

利上げの一時休止を示唆

今回の利上げの背景には、強い経済成長を背景にインフレ圧力が高まっていることがあります。

同中銀は、金融政策決定会合後の声明で、今回の利上げの決定は、将来の平均的なインフレ率が同中銀が目標中央値とする2%近辺に保たれ、経済成長を持続可能にするのに寄与するとの考えを示しました。また、経済は年初からの金融引き締め効果が表れつつあるとしました。そのうえで、現在は、金利をより中立的な水準へ向けてさらに引き上げる前に、これまでの利上げの影響を検証するのが適切な時期だとし、利上げの一時休止を示唆しました。4-6月期のインフレ率は1.6%と前四半期から加速したものの、6月に同中銀が示した予想を下回りました。

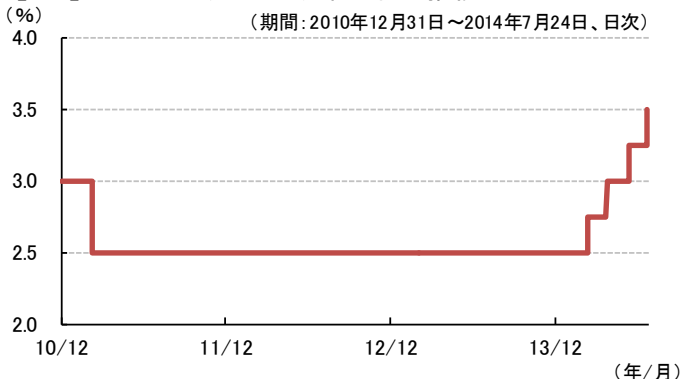
また、ここ数カ月で、乳製品や木材の価格が下がっているにもかかわらず、為替レートの調整が不十分であることを指摘し、現在のニュージーランドドル高は正当化されず、維持不可能であるとしてきました。

今回の利上げ自体は市場予想通りだったものの、同中銀が為替レートに言及したことなどを受け、7月24日午前9時頃の東京外国為替市場では、対米ドルで前日比0.9%程度、対円で同0.8%程度のニュージーランドドル安となっています。

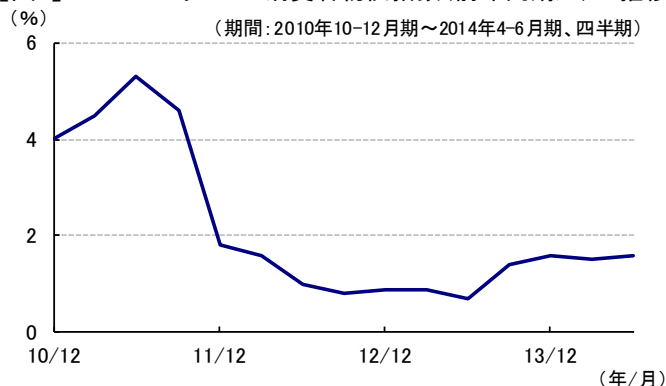
次回の金融政策決定会合は2014年9月11日の予定です。

以上

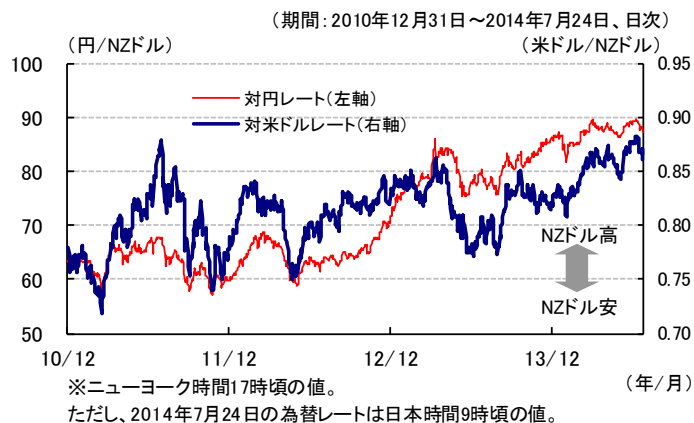
【図1】ニュージーランドの政策金利の推移



【図2】ニュージーランドの消費者物価指数(前年同期比)の推移



【図3】ニュージーランドドルの対円・対米ドルレートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成